

伝統的文化と 日本のおもてなしの価値を 海外に届ける

「伝統文化の見立てと
日本文化の価値共創」

日本文化といえ、以前は茶道やいけばなといったいわゆる伝統的な「道」の表現に焦点が当てられていましたが、昨今では生活様式や建築、インテリア、庭園設計といった領域において、**日本ならではの美意識や思想**が改めて注目され、国際的にも高い関心を集めています。こうした伝統文化のベースにあるのが、**「見立て」**です。見立ては日本独自の感性価値創造の方法であり、私たちの空間や暮らしそのものに豊かさを与えてきましたが、これは「本物」の共通理解があつてはじめて可能となります。たとえば、出雲流庭園の枯山水は本物の風景を知るからこそ感動できるのです。では、海外において見立てはどのように展開が可能でしょうか。それは出雲の人々に受け継がれてきた伝統文化が海外においてどのように受け入れられるのかといった間につながります。そこで、伝統文化の見立てを基盤とする日本文化の価値共創および海外展開をテーマに本シンポジウムを企画いたしました。基調講演では、マーケティングの立場からのおもてなし研究の専門家による新たな視点からの知見を共有し、事例発表では組立式日本庭園「楽庭」の開発と国際展開の実践を紹介します。さらに、学術・建築・造園の専門家を交えたパネルディスカッションにより、**日本の伝統文化をどのように未来につなぎ、世界と共有していくかを多角的に探求**します。

令和7年

日時

7月29日 火

午後1時～4時

場所

大阪南港
ATCビルITM棟
9階 セミナールーム

(大阪市住之江区南港北2-1-10 TEL 06-6615-5432)

オンライン
同時開催

主催 日本感性工学会 感性価値創造研究部会

共催 株式会社タケダ造園

後援 島根県・出雲市・出雲流庭園保存会
一般社団法人 未来を創る新教育推進会

参加料(資料代) 2,000円

お問合せ先 株式会社タケダ造園
TEL 0853-28-8282
E-mail rakutei@takezofarm.co.jp

お申し込み方法

右の二次元
コードを読
み取り、お
申し込みく
ださい



申し込み締め切り
2025年7月28日(月)

1 部

基調講演

「おもてなしと『見立て』」～日本文化における価値共創～



講師 相島 淑美 神戸学院大学教授

見立てとは「あるものAを別のものBに置き換えて見ること」を意味します。たとえば日本庭園の枯山水では、白い石や砂は水の流れに見立てられています。私たちはそれを石や砂としてでなく水の流れとして見ることで心を動かされます。落語で用いられる扇子や手拭いも見立てです。この技法は日本独自の表現方法であり、私たちの文化や感性に深く根付いています。基調講演では、見立てをキーワードに、日本文化としてのおもてなしについてとくにホスピタリティとの差異等に触れながらお話できればと思っています。

2 部

事例発表

「日本庭園美術と伝統文化を海外に届ける」



発表者 竹田 和彦 (株)タケダ造園代表・樹木医・島根県景観アドバイザー

出雲流庭園の伝統を現代の暮らしに合わせて再解釈し、「楽庭」という新しい庭園スタイルを開発。暮らしに寄り添う感性空間として国内外に発信しています。本年7月のヨーロッパ市場調査から、日本庭園の新たな価値と国際的な可能性を提案します。

3 部

パネルディスカッション

「日本の伝統文化を海外に届ける」

コーディネーター



勝瀬 典雄
関西学院大学
専門職大学院兼任講師

パネルメンバー



相島 淑美
神戸学院大学
教授



竹田 和彦
(株)タケダ造園
代表取締役



徳持 拓也
一般財団法人
池坊華道会事業部長兼
東京事務所長
華道家元池坊正教授



竹延 幸雄
株KMユナイテッド
代表取締役社長
株竹延 オーナー



森 一彦
京都先端科学大学院
国際学術研究院
教授



山川 拓也
流通科学大学
人間社会学部観光学科
准教授